

<b>授業科目名</b>	公衆衛生看護学実習（地域活動）(2300412)		
<b>時間割名</b>	公衆衛生看護学実習（地域活動）(70235)		
<b>時間割担当</b>	芝田ゆかり	三浦康代	吉水清 井上葉子
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	3 選択
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

保健師として地域で組織的に健康問題を解決していくために必要な高度な実践能力を養う。地域で生活する個人・家族・集団の健康問題についてのアセスメント、計画立案、実践、評価の過程を理解する。また、公衆衛生看護活動が社会資源および住民を含めて組織的に展開されていることを理解する。

### 学習の到達目標

1. 地域公衆衛生活動の中心となる保健所や市町村の機能と役割が理解できる。
2. 地域住民の生活支援の実際を知り、生活に焦点をあてた情報を収集し、根拠に基づいて健康課題を明らかにする。
3. 地域の健康課題解決に向けた保健活動を知り、保健師や他職種との役割・責務を理解する。
4. 地域にある保健医療福祉に関わる社会資源を知り、関係機関・他職種と保健師との連携・協働の実際を学ぶ。
5. 公衆衛生看護の役割について考察を深め、倫理に基づき実践する基礎的能力を習得する。

### 授業方法・形式

実習

### 授業計画

保健所：

1. 公衆衛生行政  
保健所の機能と役割を理解する。
2. 地域保健活動の実際
  - 1) 法律と事業の関連を学ぶ。
  - 2) 保健所保健師の役割を学ぶ。

市町村保健センター：

1. 市町村の保健福祉行政
  - 1) 市町村の組織・機能について理解する。
  - 2) 市町村の保健福祉行政について理解する。
2. 地域の特性と公衆衛生看護活動計画
  - 1) 公衆衛生看護活動計画について理解する。
  - 2) 地域の特性から健康課題を捉える。
3. 公衆衛生看護活動の実際
  - 1) 個人および家族に対して、生活の場において支援する意義を理解し、実践できる能力を養う。
  - 2) 公衆衛生看護活動の中での位置づけを理解し、継続管理のあり方を学ぶ。
  - 3) 地域のヘルスニーズに合った健康教育のあり方について、実際を通して学ぶ。
  - 4) 公衆衛生看護活動の中での健康教育の位置づけを理解する。
  - 5) 事業の意義・目的を理解し、運営方針（設営・従業員・手順 等）を知るとともに、ケースのヘルスニーズを充足するための支援方法および事後処理の仕方を学ぶ。
  - 6) 対象の把握・周知方法を知り、実際の運営および事後処理について学ぶ。
  - 7) 公衆衛生看護活動の中での事業の位置づけを理解する。
  - 8) 公衆衛生看護活動を進めていく上で、事例に関わる社会資源について理解し、必要な社会資源を考えることができる。
  - 9) 関係職種の役割を知り、保健師の機能について考える。
  - 10) 地区組織の機能と活動内容を知り、組織が果たす役割を理解する。
  - 11) 組織の育成における保健師の役割について学ぶ。

### 成績評価の基準

実践50%、実習記録等40%、実習に取り組む姿勢10%等を総合評価する。

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

- ・実習目的・目標を理解し、実習期間中に達成可能な個人の実習目標を立てる。
- ・公衆衛生関連の学内授業で学習した内容について復習を行う。
- ・実習施設である保健所および保健センターの事業内容等の情報をホームページやパンフレットを活用し把握しておく。
- ・各実習施設の場所や交通手段を各自で調べておく。
- ・実習期間中におこなわれる事業について、あらかじめ情報を得ておく必要があるものは、把握しておく。

### 履修上のアドバイス及び留意点

準備学習等「公衆衛生看護学実習 要項」を参照し、実習前に準備学習と演習を必ず実施する。

## 教材・教科書

標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 医学書院  
標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術 医学書院  
標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院  
国民衛生の動向 2017/2018 厚生労働統計協会  
公衆衛生看護学.jp 第4版 インターメディカル

## 参考書

適宜、紹介予定